

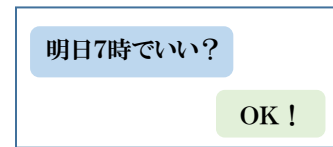
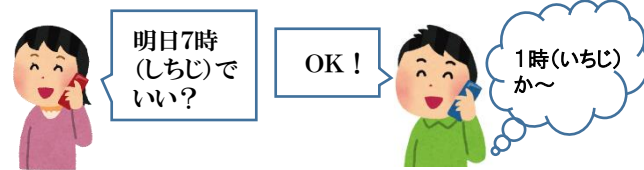
保護者の皆様へ(主に中学校・高等学校)

非対面コミュニケーションの特性について

メールやSNSなど文字のみによる非対面のコミュニケーションが日常的に行われるようになりました。文字のみによるコミュニケーションには、直接相手と向き合っていく会話と比べて、メリットとデメリットがあり、その特性を理解せずに行うと、思わぬトラブルに巻き込まれることがあります。

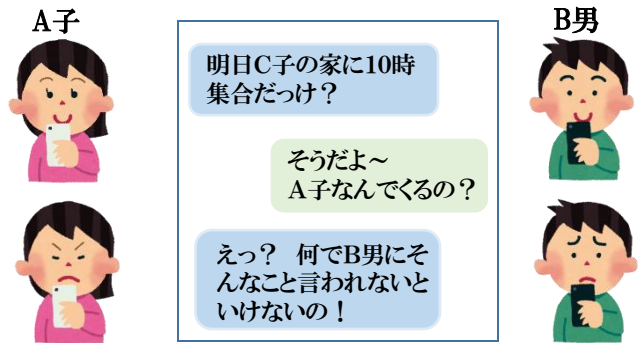
正確に情報を伝えることが可能

文字のみによるコミュニケーションのメリットは、正確に情報を伝えることが可能なところです。会話では聞き違いや記憶違いによるトラブルが起こることも多々ありますが、文字にすると送り手・受け手の両者とも、何度も目で見確認することができるため、間違いが起こりにくくなります。



文字だけでは微妙なニュアンスが伝わりにくい

一方、メールやSNSといった文字のみによるコミュニケーションにはデメリットもあります。対面でコミュニケーションをとる場合には、私たちは言葉以外に、相手の表情やしぐさ、声のトーンなどを通して会話の内容や意図を理解し判断することができますが、文字だけではそうした情報を得ることができません。子どもたちは、顔文字や(笑)などを加えて感情やニュアンスも伝える努力をしていますが、受け手の気持ちを押し量って書き込んだり、わかりやすい表現を使用したりする配慮が足りなかったばかりに誤解が生まれてしまうことがあります。



※このやりとりでは、B男は電車やバスなどの交通手段を尋ねたつもりでしたが、A子は「なぜ、あなたも来るの(来ないでほしい)」と受け取り、傷ついてしまっています。

保護者の皆様へ

子どもたちは、対面で使う話し言葉をそのままメッセージに書き込むことが多いようです。そのため、上図のような誤解が常に起こりうる状況にあります。

子どもたちには、「正確に情報を伝えることができる反面、気持ちを伝えるのが難しい」という非対面コミュニケーションの特性をきちんと理解させることが必要です。

また「これは文字だけでは伝わりそうにないから、明日会って直接伝えよう」といったように、状況に合わせてコミュニケーションの手段を使い分けることの必要性を伝えたり、日頃の御家庭における会話の中で、誤解の生まれそうな表現があった時には、別の表現を一緒に考えたりするなどして、子どもたちにコミュニケーションスキルを身に付けさせましょう。